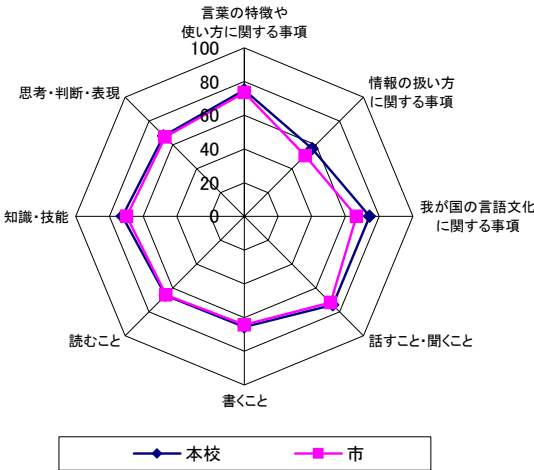


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	75.0	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	56.9	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	74.3	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	74.3	72.3	73.7
	書くこと	65.6	64.3	66.6
	読むこと	66.2	65.8	64.9
観点別	知識・技能	72.3	69.8	70.8
	思考・判断・表現	67.6	66.5	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○本領域の平均正答率は75.0%で、市の正答率を1.5ポイント上回った。 ○「第5、6学年に配当されている漢字を正しく書いている」の平均正答率は、全て市の正答率を上回っている。 ●「三字の熟語の成り立ちについて理解している」の平均正答率は60.6%で、市の平均正答率を8.0ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字ドリルや漢字小テストを活用し、繰り返し練習を継続させるとともに、今後も文や文章の中で使うことができるように指導していく。 ・熟語の構成を理解し、語句の由来に関心がもてるよう、様々な言語活動において指導し、読解では意味や成り立ちを考えさせる活動を取り入れる。
情報の扱い方に関する事項	○本領域の平均正答率は56.9%で、市の正答率を5.9ポイント上回った。 ●「情報と情報の関係について理解し、文章の情報を整理をしている」の平均正答率は47.7%で、市の平均正答率を3.0ポイント下回った。	・国語に限らず、社会や総合的な学習など複数の教科を横断して、資料から必要な情報を読み取る力を身に付けさせていく。 ・得た情報を整理し、重要な要点を簡潔にまとめる学習にも取り組み、情報を的確に活用する力を身に付けさせていく。
我が国の言語文化に関する事項	○本領域の平均正答率は74.3%で、市の正答率を7.8ポイント上回った。 ○「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」の平均正答率は74.3%で、市の平均正答率を7.8ポイント上回った。	・引き続き日本語への関心を深めさせるとともに、諸外国との関わりにも興味をもたせ、和語、漢語、外来語のもつ特徴を理解し、適切に使い分ける力を身に付けさせていく。
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は74.3%で、市の正答率を2.0ポイント上回った。 ○「話の内容を捉えている」の平均正答率は97.2%で、市の平均正答率を3.7ポイント上回った。 ●「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている」の平均正答率は45.0%で、1.4ポイント下回った。	・話し合い活動では、話し手の意図を汲み取り、自分が聞きたいことの中心を捉えられる質問ができるよう指導していく。 ・自らの意図をもって話を聞き、必要な情報を選び取る力を養うために、話の目的や要点に注意を向けさせ、内容を的確に捉えられるような聞き方を意識させる場面を増やし、聞く力を身に付けさせていく。
書くこと	○本領域の平均正答率は65.6%で、市の正答率を1.3ポイント上回った。 ○「情報と情報の関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている」では、平均正答率が66.1%で、市の平均正答率を14.8ポイント上回った。 ●「予想される反論とそれに対する意見を書いている」の平均正答率は、市の正答率を0.6ポイント上回っているが、47.7%だった。	・文章を書く際には、文章構成を事前に考えたり、具体例や表現を工夫したりすることを繰り返し指導し、指定された分量を書く経験を積み重ねていく。 ・予想される反論に対して自らの意見を論理的に示すことができるようにする。そのために、意見を深めるための視点を与え、反論に対して具体的かつ説得力のある表現ができるような指導を行い、論理的思考力を身に付けさせていく。
読むこと	○本領域の平均正答率は66.2%で、市の正答率を0.4ポイント上回った。 ●「登場人物の心情について、描写を基に捉えている」の平均正答率は71.6%で、市の平均正答率を3.6ポイント下回った。 ●「文章全体の構成を捉えて、要旨を把握している」の平均正答率は33.9%で、市の平均正答率を1.4ポイント下回った。	・物語文では、登場人物の心情や様子を描写を基に捉えることができるようにする。そのために、登場人物の台詞や行動、情景描写に着目させながら読み取らせていく。